

第2期武蔵野市環境啓発施設運営会議（第5回）議事要録

日 時 令和4年5月30日（月）開会 午後6時 閉会 午後8時

開催方法 Web 会議システム使用によるオンライン開催

参加者 委員9名、事務局6名

小澤委員長、鈴木副委員長、宮坂委員、中西委員、村井委員、新保委員、野村委員、奥野委員、朝生委員

- 1 議事  
施設貸出について
- 2 報告事項
  - (1) 事業実施状況等について
  - (2) サポーター登録について
  - (3) 令和3年度市政アンケート調査（結果抜粋）
- 3 その他

委員意見・質疑及び事務局回答

発言者	要旨
1. 議事 施設貸出について	
事務局	<p>資料1「施設予約の試行実施について（案）」を参照。エコreゾーン施設予約について、試行実施を開始する。予約対象となるのは、むさしのエコreゾーンのフリースペース、ものづくり工房、カフェスペース、スタディールーム、前室、アーカイブコーナー、武蔵野クリーンセンターのコミュニティラウンジ。利用目的として、講座・講演会、学習会、展示、工作など。時間帯は午前枠と午後枠とがある。環境に関する意識の啓発を目的に活動している団体、個人に対して貸出を行う。施設の予約利用にあたっては、事前の登録が必要で、団体・個人、市内・市外の区分に分かれている。</p> <p>市内の団体個人は4カ月前から抽選予約が可能で、市外の団体個人は6カ月前から抽選予約が可能。先着の申込は市内の団体個人は3カ月前、市外の団体個人は2カ月前から直前の1週間前まで行うことができる。申込の際には、企画書を提出し、話しを聞きながらアドバイスを行いながら申込を受け付ける。</p> <p>市報6月15日号で周知を開始し、6月下旬に団体・個人の登録受付、9月1日から貸出が開始となる。今年度は試行実施とし、利用後にアンケートなど聴取し、利用者の声を把握した上で必要な見直しを行っていく。</p>
委員長	接種会場としての使用は5月末で終わるのか。
事務局	6月以降は全面開館に戻る。その後の様相については、社会情勢による部分も大きい。
委員	試行期間が終わり、現段階の案が見直されるのは3月31日時点までの予約が入っている6カ月先の10月から、という認識でいいか。

事務局	試行期間後は、順次見直しをしていくことを想定しているが、既に予約をしている団体個人の不利益にならないように配慮はしていく。
委員	4月以降の予約をしている団体個人には、変更がある可能性を示した方がいい。また、試行期間の長さが微妙に感じる。
委員	先着予約、抽選予約のスケジュールを、利用者に分かりやすくつたえていただきたい。
事務局	利用される皆さまに案内を出すにあたり、気をつけて表記したい。
副委員長	夜間の利用の検討もしていただきたい。今度、夜しか活動できない団体などにも間口を広げていくべき。
事務局	慎重に検討していきたい。
委員長	今回の貸出は「試行」という形であり、まだまだ戸惑う部分もあるかと思う。ただまずはコロナの感染状況を広げないことが第一で、柔軟に展開していくべき。
事務局	連携会議の皆さまにも、6月10日を目途に案内を発出していく。まずは貸出の前段となる団体・個人の登録の周知を進める。団体や個人の登録の段階では、企画書は必要なく、また団体名称などもニックネーム等柔軟に対応していきたいと考えている。
委員	有料の講座、講演会の開催についてはどのような基準か？また、申込はむさしのエコ re ゾートの窓口に行くことが必須ということか。
事務局	有料の講座、講演会については、参加者に資料代程度の実費聴取を想定している。また申込は現段階では窓口での受付となるが、いずれはシステムの導入も検討している。
委員長	試行期間の間に来場者に、むさしのエコ re ゾートを利用したいか意見を聞き、また必要であれば連携会議参加者にも意見を募るなどの対応をしてもらいたい。
事務局	6月15日号市報における周知は、「むさしのエコ re ゾートおよびむさしのクリーンセンター施設の予約利用に向けた登録を始めます」というタイトルで、9月1日からの貸出開始に向けた団体・個人の登録開始を周知する。
2. 報告事項	
事務局	これから夏場にかけての事業の説明。1つ目は6月の環境月間に合わせ、環境展の開催を予定している。資料2として市報6月1日号特集面を添付。市報の上半分で、環境月間の取組、緩和策と適応策両方の必要性などを特集しており、下半分で6月開催の環境展を特集している。環境展の内容としては、クイズやSDGs展示、みどりのカーテンレポートの紹介など。2つ目は「環境の学校連続講座」「環境の学校 Green プロジェクト」「環境の学校PRプロジェクト」の3つの連続講座を実施。「環境の学校連続講座」は今年度4年目を迎える。環境と社会や経済といった視点の中で、新たな気づきを提供する講座を企画している。「Green プロジェクト」は今

	<p>年度、「緑のカーテン事業」と連動して実施し、緑のカーテンレポーターと受講生を同時に募る。「PR プロジェクト」では高校生・大学生世代を対象にPRの媒体を作ってもらふことを目的にしている。</p> <p>3つ目の事業として、「環境フェスタ in SUMMER」の紹介。7月下旬～8月下旬にかけて開催を予定している。ワクチン接種会場としての使用であったところ、施設の再開時の周知、集客につながるイベントとしての実施を企画していた。夏休み期間でもあり、連携会議参加者にも声掛けをし、様々な体験ができる体験講座のメニューなどを提供してもらふことを予定している。</p> <p>また、気候市民会議の実施について、4月15日号市報で周知が始まった。7月から11月まで、月に1回会議を開催し、会議内の意見をもとに「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を作成する予定になっている。</p>
副委員長	<p>「緑のカーテン事業」について、ゴーヤを東京に広げることに関がった、ウリミバエの根絶の話を織り交ぜてもらいたい。「環境」や「生きもの」「気候」といったテーマに深く関わってくる。</p>
委員	<p>「むさしのエコ・チャレンジ」の実施を予定しているとのことだが、昨年度の反省で、受講後にむさしのエコreゾートに関わっていける具体的なサポート内容の提示が足りなかった、といったことがあったと思う。今年度は最初に方向性を明示していくことが重要と考える。</p>
委員長	<p>前回のむさしのエコ・チャレンジは子どもたちのグループ発表が優秀だった。連続講座に参加する方々も、最初にどんな目標・目的を持っているのか共有することが大事。</p>
委員	<p>今の時点では難しいと思うが、気候市民会議の参加者へ、3000円のクオカードよりも、環境にまつわる商品やポイントの配布などの方が良いのではないか。</p>
委員長	<p>家電の買い替えの際、エコポイントをもらえて得をした記憶がある。今回の会議は、実際の行動変容に結び付けられるような内容になることを期待している。</p>
委員	<p>今日の市報に「水道週間」の記載があった。また、8月1日は「水の日」とされているが、アンケートでは認知度が低い。水道週間と併せて、水の日も認知していただいたい。</p>
事務局	<p>サポーター登録について説明。これまでは「プレサポーター」という形で募集をかけてきていた。今回、連携会議に参加いただいた方から6名、連続講座に参加されていた方から22名の方にプレサポーターとしてご参加いただいている。4月の段階でお声がけし、定期的に打ち合わせをする流れができてきており、前はこれからのような活動をしていきたいかを披露しあい、今後具体的に詰めていく。また、今回の「環境展」の掲示物についても制作のお手伝いをお願いしている。</p>
事務局	<p>令和3年8月に実施した市政アンケート結果について、むさしのエコreゾートに関する回答を抜粋して紹介。</p>
委員長	<p>ワクチン接種会場でなくなり、施設を知っていただくことが大事になってきている。今後に期待したい。</p>